

大槻重之著

インドネシア専科

第8巻 G 生活編

表紙絵清原嘉彦

「寮(メス)の近くにやや大きなモスクがあった。夜明け前から夕刻まで、例のアザーンのスピーカーの音で、一種の迷惑、一種の異国情緒を毎日味わった。時々、休日に結婚式が行なわれており、集まって来る多くの別嬪さん方と、「オメデトウ」と自分と何の関係も無いのに無駄話をする楽しみも、またあった。」

まえがき生活編

私自身はインドネシアに居住したわけではなく、会社の十数回の出張で接したにすぎない。いわば旅行者にすぎない者がインドネシアの生活模様をさも実際に居住したがごとく記述するとは僭越であることは承知している。

さらにここ数年のインドネシアの変貌は驚くばかりで、生活面での変化は如実に現れている。その変貌には15-20年前のインドネシアは既に昔話であろう。

この程度の体験に基づく「インドネシア専科」生活編がこれからジャカルタに駐在しようとする人に役立つとは思えない。書いてあることを信用すればとんでもないこともありうる。

しかるにあえて著者が「生活編」を刊行しようとする意図は日々の彼らの生活の観察を通してインドネシアという異文化に接したという私自身の経験からである。

インドネシアへ行けば誰でもが接する最も身近なインドネシアは日常生活の風景である。生活の観察を梃として風土、社会、文化、歴史等へと拡大したのが「インドネシア専科」編纂の経緯である。このような意味で著者にとって「生活編」はインドネシア専科の中の冒頭にくるべき入門編である。

インドネシア専科の多くについては駐在員の皆さんの情報を基づくが、特に日常生活に関する話は興味があった。本編「G-9 ジャカルタ駐在員」は駐在員としての感情移入をこめ、本「インドネシア専科」シリーズで唯一切り口を変えた記述を意図的に試みたが、足が地についていない感はまぬがれえない。

2008年8月酷暑の夏

著者しるす

編者前書き

2018年に亡くなった大槻重之さんから、この「インドネシア専科」をもう一度インターネットに挙げてほしいと生前依頼されたのでここに編集して掲載するものである。

編集にあたって、巻末の注を脚注に異動し、必要に応じて「編者註」も追加したものである。

図と写真は編者が作成・撮影して本文に追加したものである。

2019年6月

編者 田口重久 <omdooyok@infoseek.jp>

G : 生活編目次

G-1 食事と食物		788. 日傘/権威のシンボル	38
757. 手食の作法	7	789. 履物の普及	40
758. 主食としての米	8	790. コテカ/ペニスケース	41
759. 飯はナシ	9		
760. 麺類とファーストフード	10	G-3 住居と住まい	
761. 香辛料の使い方	11	791. 住居の意味	42
762. チャベ/唐辛子	11	792. 高床式住宅	43
763. アクア水	12	793. 杭上住宅	44
764. パダン料理	13	794. ジャワ人の住居	45
765. 調味料	15	795. バリ人の住居	46
766. サテサテとガドガド	16	796. コロニアル風邸宅	47
767. 菓子はクエ	17	797. プルムナス住宅	48
768. テンペとトーフ	18	798. ショップハウス	48
769. 魚はイカン	19	799. カンプンの小屋	49
770. サゴ椰子	20	800. 貴重な電気	50
771. ココナツミルク	21	801. 階段・玄関・床	51
772. バナナの調理	22	802. 台所と厨房用燃料	52
773. ドリアン/果物の王	23	803. マンディ/水浴	53
774. 果物の女王	24	804. 便所は水洗	54
775. ナンカは何か	25	805. 便所の使用法	55
776. 食後のデザート	26	806. 抱き枕と蚊帳	56
777. ブアブアハン	29	807. 屋根の素材	57
778. 甘党好み	30	808. 熱帯病マラリア	58
G-2 衣食住の衣		G-4 ムスリムであること	
779. 着るということ	30	809. アザーンの呼びかけ	59
780. 民族衣装から洋装へ	30	810. お祈りの仕方	60
781. サロンとクバヤ	31	811. モスクの風景	61
782. パチック・シャツ	33	812. ラマダン/断食	62
783. 制服の風習	33	813. ラマダンの終了	62
784. 帽子でないベチ	34	814. レバラン/断食明け	63
785. チャドルで隠せ	35	815. ザカート/喜捨	64
786. 女性のジルバブ	36	816. メッカ巡礼	65
787. 装身具と鍵	37	817. イスラム教徒の割礼	66

818. イスラム讃歌	67	851. スカルノ・ハッタ国際空港	99
819. イスラム暦	68	852. ロスメンとホテル	100
820. 食物のタブー	69	853. 旅客船の旅	101
821. インシャラー	70	854. ピニシ船	102
		855. 河川交通	103
G-5 余暇と嗜好品		856. 電話の話	104
822. 国営TV放送	71	857. 郵便局では	105
823. 民間放送の開局	72		
824. スポーツの振興	72	G-7 生業様々	
825. バドミントンの栄光	73	858. カキリマ/屋台	106
826. ハロー・ハロー・バンドン	74	859. ベチャ引き	107
827. シラット/伝統武技	75	860. 街頭のものうり	108
828. セパタクロー/伝統球技	76	861. 観光地のものうり	109
829. クトプラ/大衆演芸	77	862. 天秤棒一本	109
830. ダンドウッド	78	863. ジャムウ売りの姉さん	110
831. 大衆音楽の歌手	79	864. パサールの人々	111
832. 闘鶏の熱中度	80	865. プガメン/流し歌師	112
833. コピ時間	81	866. ドウクン/占い師	113
834. キンマの接待	82	867. バリアン/祈祷師	114
835. タバコは健在	82	868. 黒魔術師	115
836. クレテックの芳香	83	869. バリの司祭	116
837. トゥアック/ヤシ酒	84	870. ウラマとキヤイ	117
		871. 踊り子の修業	118
G-6 乗り物と交通		872. 鍛冶職人	119
838. 交通ラッシュ	86	873. 伝統工芸職人	120
839. ベチャ/輪タク	86	874. ダラン/ワヤン語り	121
840. バジャイ/庶民の足	87	875. ビ冷凍工場の女工	121
841. ミニバス	88	876. カー通勤ジョッキー	122
842. 雲助タクシー	89	877. 空港の公務員	123
843. ジャカルタの地下鉄計画	90	878. チャロ/便利屋	124
844. 発達した道路網	91	879. ビーチボーイ	125
845. 高速道路	92	880. バリ農民の一日	126
846. 市内バスと長距離バス	93	881. ゴム園労務者	127
847. 何故か左側通行	94	882. 焼畑農耕民	128
848. 錆ついた鉄路	95	883. 海峡の人・海賊	129
849. 通勤列車	97	884. 零細漁民	129
850. 文明の使者/飛行機	98		

インドネシア専科

G-8 ジャカルタ駐在員		
885. 日本料理店の繁盛	131	
886. トゥアンであること	131	
887. メイドとの共存	132	
888. 運転手付乗用車	133	
889. コンドミニウム	134	
890. 日本の週刊誌	135	
891. ラグラグ会	136	
892. カラオケの夜	137	
893. アルコール飲料	138	
894. ゴルフ三昧	139	
895. そこに山がある	140	
896. 温泉気分	141	
897. 何より健康管理	141	
898. ウェルカム・シャワー	142	
899. 日本人学校	143	
900. 警察とのつきあい	144	
901. 外国人料金	145	
902. よろざインドネシア	146	